

防災月間 イベント実施

報

告



車いすユーザーや傷病者の避難をサポートする器具の体験

キャンパスライフ支援センターでは、令和8年9月18日と29日に防災月間イベントを開催しました。

「災害が起きてエレベーターが使えなくなったら、建物の上階にいる車いすユーザーや、けがをして自力で避難できない学生をどのようにサポートすればよいのだろう？」

そんな疑問について、参加者みんなで考えながら学ぶために、学内に設置・貸出されている避難器具を実際に体験するイベントを行いました。当日は教職員や学生に加え、他大学で学生支援に携わる教職員の方々にもご参加いただき、避難時の支援のあり方や器具の使い方について理解を深める機会となりました😊



体験した避難器具①

ベルカ

ベルトを背中斜め掛けして、身体全体を持ち上げます。（一人の場合は背中でクロス）コンパクトで便利で、置き場所にも困りません。

体験した参加者から、持ち上げるためのコツは

- ・持ち上げる時には、お互いに声かけを行う
- ・介助者の身長差を少なく
- ・頭の方から持ち上げる

上記を意識して安全に避難を行うことが大切との意見がでました。



体験した避難器具②

ラップローバル

傷病者をワンタッチカバー（ラップ）で包み込み安全ベルトで固定してスライド搬送ができます。階段移動は2人・平行移動は1人でも可能。参加者のみなさん、運搬のしやすさに驚かれます。



体験した避難器具③

イーバックチェア

座位の状態でも、安全に階段から避難が可能。利用の仕方さえ事前にはっきり理解していれば介助者の負荷が少なくと参加者の方から意見がでる優れたものです。



参加者の声

- ・何度も体験が出来てとても勉強になった。
- ・本学にはまだ設備がととのっていない為、良い学びになりました。ありがとうございます。
- ・実際に体験できるのが良かったです。
体験してみないと、力のかけようや重さなどわからないので良かったです。
- ・実際に体験することによって対応中どのように声をかけるとよいのかなど、伝えられることがあると感じました。